

2009年度事業計画書

自 2009年4月1日

至 2010年3月31日

(財)日本音楽財団

1. 方針

本年度は、「音楽国際交流事業」と「音楽文化の振興事業」並びに「地方における演奏会の開催」事業を実施する。

音楽国際交流事業では、財団が保有する弦楽器名器を貸与する事業を中心として西洋クラシック音楽の振興普及を図るとともに、西洋音楽を通じた国際交流を積極的に推し進める。

音楽文化の振興事業(音楽助成金交付事業)では、音楽関係諸団体の活動を支援して音楽水準の向上に寄与することにより、音楽の振興と普及を図る。

地方における演奏会事業では、楽器貸与者を主な演奏家として東京以外の都市でストラディヴァリウスを使用した演奏を提供するとともに当財団の楽器貸与事業の周知を積極的に行う。

その他、当財団の目的達成するために必要な事業を行う。

(1) 音楽国際交流事業(継続)

- ① 弦楽器名器の購入と保全
- ② 所有楽器の貸与(楽器貸与委員会の開催を含む。)
- ③ 所有楽器による国内演奏会の開催
- ④ 所有楽器による海外演奏会の開催(周知・広報活動)
- ⑤ 音楽関係国際ネットワークの形成
- ⑥ その他

(2) 音楽文化の振興事業(継続)

(3) 地方での演奏会の開催(継続)

(4) その他

2. 事業計画

(1) 音楽国際交流事業

[事業の目的]

世界のクラシック界に対して、貸与者の国籍を問わない楽器貸与事業を展開するとともに、世界各地のオピニオンリーダーをターゲットにした演奏会等を開催し、日本の財団として実施している弦楽器貸与事業の国際貢献を広く周知広報する。

[事業の計画]

① 弦楽器名器の購入と保全

アントニオ・ストラディヴァリ等著名な弦楽器製作家により製作された弦楽器を購入するため市場調査を行う。購入の資金は前年度までの繰越金を使用し、購入楽器については理事会において決定する。

所有弦楽器名器の定期的保守・保全を行う。

長期貸与者には貸与中の楽器について財団指定楽器商での年 4 回の定期点検を義務付ける。(内 1 回は、財団の楽器アドバイザーであるアンドリュー・ヒル氏のコンディション・チェックとする。)

なお、貸与事業を開始して 15 年が経過し、経年による大規模な修理、補修が必要な楽器も出てきていることから、前述のヒル氏の助言を受けつつ慎重に見極め、順次対応することにする。

② 所有楽器の貸与

財団所有の弦楽器名器を誰に、どの程度の期間貸与するかを決める楽器貸与委員会を、2009 年 6 月 27 日(土)、アメリカ合衆国・ニューヨーク市において開催する。

同委員会は 1994 年に設置され、毎年一回、慎重に検討審議を行ってきている。

1997 年度から継続的にベルギー・エリザベート王妃国際音楽コンクールのヴァイオリン部門優勝者に次回開催までの期間(2009 年までは 4 年間、2009 年からは 3 年間)ストラディヴァリウス 1708 年製ヴァイオリン「ハギンス」を貸与している。このコンクールは従来から若手演奏家の登竜門として国際的に定評があったが、当財団の保有楽器が当該コンクール優勝者への副賞として次回開催までの間貸与されることになってから、応募者数が増加しヴァイオリン部門の参加者の質が向上したとの報告を受けている。当該コンクールの要請に応じて、引き続き協力することとする。

③ 所有楽器による国内演奏会の開催

当財団の楽器貸与事業を周知広報するとともに、日本の音楽愛好家にその名器の音色を披露するため、貸与者による演奏会を東京において年 3 回程度開催する。同時に実録 CD を作成し関係者に配布するなど積極的に広報に活用する。

また、日本では知名度が低い将来有望な楽器貸与者の来日コンサート等を支援するとともに、20 歳までの生徒・学生を対象として「親子でコンサート」を体験する機会を提供する。

開催日時および場所等

1) 2009年8月27日(木) 浜離宮朝日ホール

出演予定者 Erik Schumann (Stradivarius Violin 1722 "Jupiter")
占部由美子 (ピアノ)

2) 2009年12月8日(火) トップアンホール

出演予定者 竹澤恭子 (Stradivarius Violin 1710 "Camposelice")
Itamar Golan (ピアノ)

3) 2010年2月19日(金) トップアンホール

出演予定者 石坂団十郎 (Stradivarius Cello 1696 "Lord Aylesford")
Markus Schirmer (ピアノ)

④ 所有楽器による海外演奏会の開催(周知・広報活動)

海外演奏会は、当財団の楽器貸与事業を海外に周知広報することを目的に、1998年度から実施している。ストラディヴァリウス等の名器 10 挺程度を一堂に会しての演奏会は世界的にも稀であり、広報活動としては極めて効果的であるとの判断から、2001 年度以降は、できるだけ多くのストラディヴァリウスの貸与者による演奏会を開催している。

2009 年度においては、グラーツ、フィレンツェ、パリの 3 都市での開催を予定している。また、3 都市の内いずれか1都市の公演の実録 CD 及び DVD を制作し、それぞれの地域におけるオピニオンリーダーをはじめとする有識者に配布し、効果的な広報活動を展開する。

【出演予定演奏家】

音楽財団楽器貸与者計 10 名、伴奏者 1 名(ピアニスト) 参加演奏家調整中

東京クワルテット(Stradivarius Paganini Quartet)

(Martin Beaver、池田菊衛、磯村和英、Clive Greensmith)

Lisa Batiashvili (Stradivarius Violin 1709 "Engleman")

竹澤恭子 (Stradivarius Violin 1710 "Camposelice")

Erik Schumann (Stradivarius Violin 1722 "Jupiter")

Baiba Skride (Stradivarius Violin 1725 "Wilhelmj")

Yuki Manuela Janke (Stradivarius Violin 1736 "Muntz")

石坂団十郎 (Stradivarius Cello 1696 "Lord Aylesford")

占部由美子 (ピアノ)

*英国王立音楽院所有の Stradivarius 1696 Viola "Archinto" を借用予定。

1) オーストリア・グラーツでの開催

年月日: 2009年11月5日(木)

会場: HELMUT-LIST-HALLE (最大 2400 名)

2) イタリア・フィレンツェでの開催

年月日: 2009年11月7日(土)

会場: アカデミア美術館 Galleria dell'Accademia (約 280 名)

3) フランス・パリでの開催

年月日： 2009 年 11 月 9 日(月)

会 場： Cite de la Musique (約 1,000 席)

⑤ 音楽関係国際ネットワークの形成

世界の音楽関係機関との更なるネットワーク形成を図る。また音楽ライブラリーの設置を行うほか、楽器の製作・修理・保存等に関する資料の収集等を行う。

⑥ その他

[実施の方法]

弦楽器の購入については理事会において決定する。また、その貸与に関する事項については楽器貸与委員会において決定し、評議員会及び理事会に報告する。

(2) 音楽文化の振興事業

[事業の目的]

音楽関係諸団体の諸活動を支援して、音楽水準の向上に寄与することにより音楽の振興と普及を図る。

[事業の計画]

音楽文化の振興を目的として、音楽諸団体の音楽活動に対し助成金を交付する。その対象は、①マスタークラス②指導者の育成③アウトリーチ・子供④リハビリ⑤パートナーの育成の 5 本の柱を中心とする。

音楽の領域としては、弦楽器を主とするクラシック音楽を優先するが、従来からの吹奏楽等も対象とする。

助成対象事業数	約 20 事業
助成事業実施期間	2009 年 4 月から 2010 年 3 月中旬まで

[実施の方法]

当財団の事業運営委員会において、細目を検討のうえ決定する。

(3) 地方における演奏会の開催

[事業の目的]

地方都市において、財団所有楽器と楽器貸与者による演奏会を開催し、クラシック音楽愛好家に世界的文化遺産である弦楽器名器による演奏に触れる機会を提供するとともに、当財団の事業、特に、楽器貸与事業を通じた国際貢献に対する理解の促進を図る。

